

## アイスクャンドルづくり

厳冬期の夜を彩るアイスクャンドル作りに挑戦しませんか。

<b>時期</b>	冬期間(1月～2月末頃)	<b>活動場所</b>  自然の家
<b>時間</b>	1～3日(完成まで)	
<b>対象</b>		
<b>人数</b>		
<b>準備するもの</b>	<b>施設側</b> 用具一式	<b>利用者側</b> 活動に適した服装

### 活動の流れ

アイスクャンドルの作り方については、別図を参照



# アイスクャンドルを作ろう

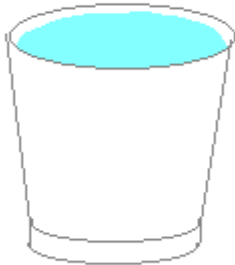
## アイスクャンドル作りのレシピ

### 材料

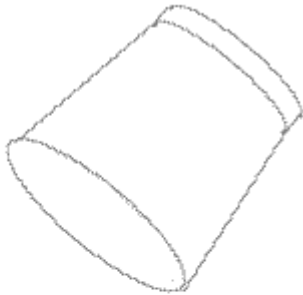


- 1) 直径30cm程のバケツ。ブリキが最も良いが、最近では手に入らないでしょう。真っ直ぐなバケツよりも少し広口になったもの。たてて見て逆台形のバケツが良い。
- 2) 水。バケツの口を数センチ残す程度の水。水道水で十分。
- 3) ロウソク、ロウソクを立てる台として木の破片、釘。
- 4) 寒気を少々。

### 作り方



- 1) バケツに水を入れて一晩(地域によって違いがあります。自分でためてみましょう)放置します。半分ほど凍った頃に(言うのは簡単ですが、まさかバケツを見張っている訳にもいきませんから、経験を重ねる必要があります)バケツを逆さまにして、出来上がった氷を取り出します。



- 2) 水気が無くなったらキャンドルを飾る場所に運び、中にロウソクを立てて出来上がりです。回りが凍りなので危険は少ないですが、やはり「火」を扱いますので十分注意してください。

### 様々な工夫

透明なアイスクャンドルが出来るのは不純物をふくんだ水は氷点(凍る温度)が低く凍り残って真ん中に集まります。また、空気をふくんだ部分も真ん中に集まります。不純物の多い真ん中が凍る前に取り出すと円筒形のキャンドルが出来ます。

また、バケツの下が冷えると逆さまにしてキャンドルのロウソクを入れる部分の穴が無くなります。バケツの状態で逆U字型に凍らせるにはどのような工夫が良いでしょうか。

気温と出来上がったキャンドルの形を調べてみると冬休みの自由研究になりますね。

